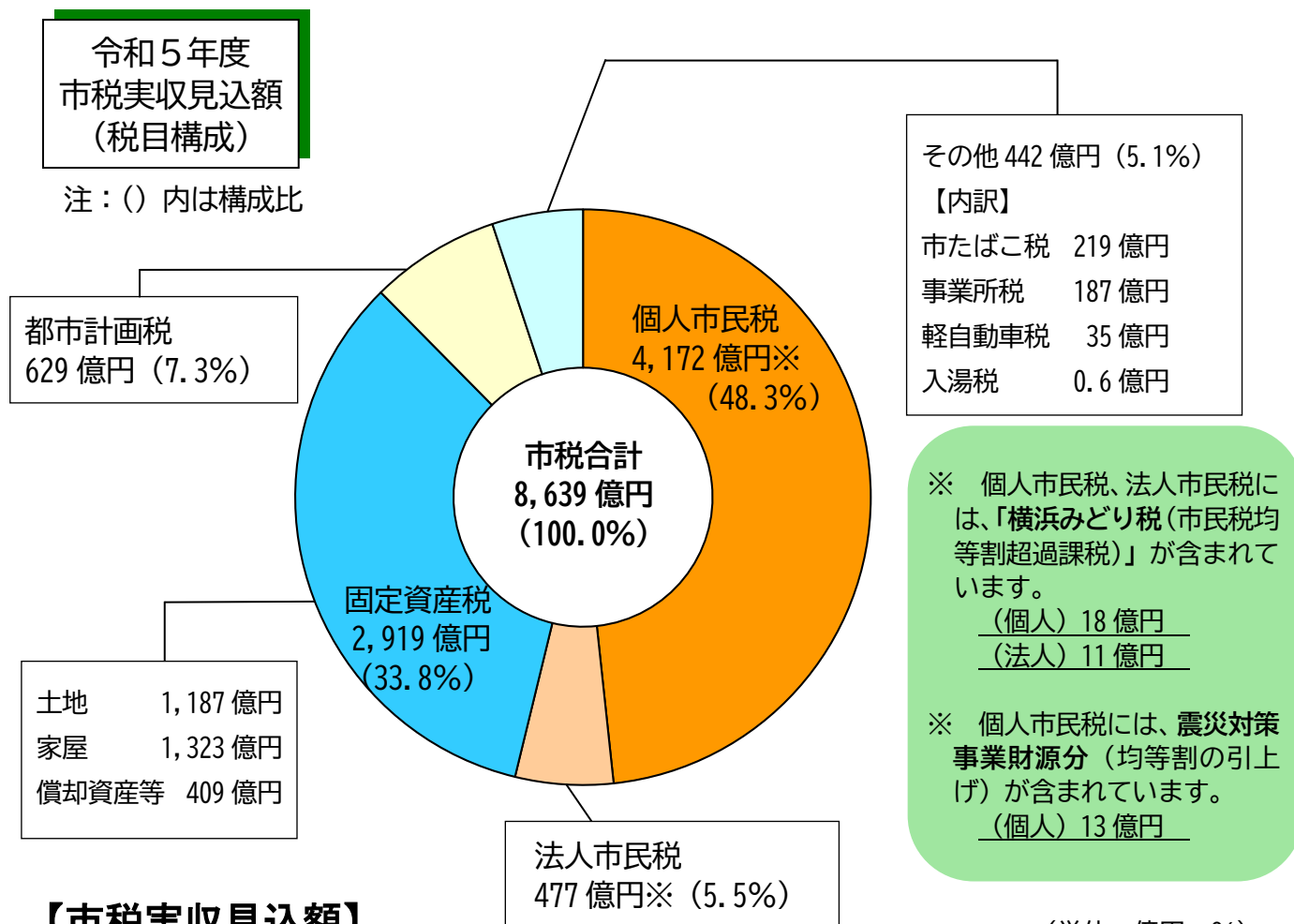


第5章 市税収入

令和5年度における市税収入（当初実収見込額）は、8,639億円としました。



【市税実収見込額】

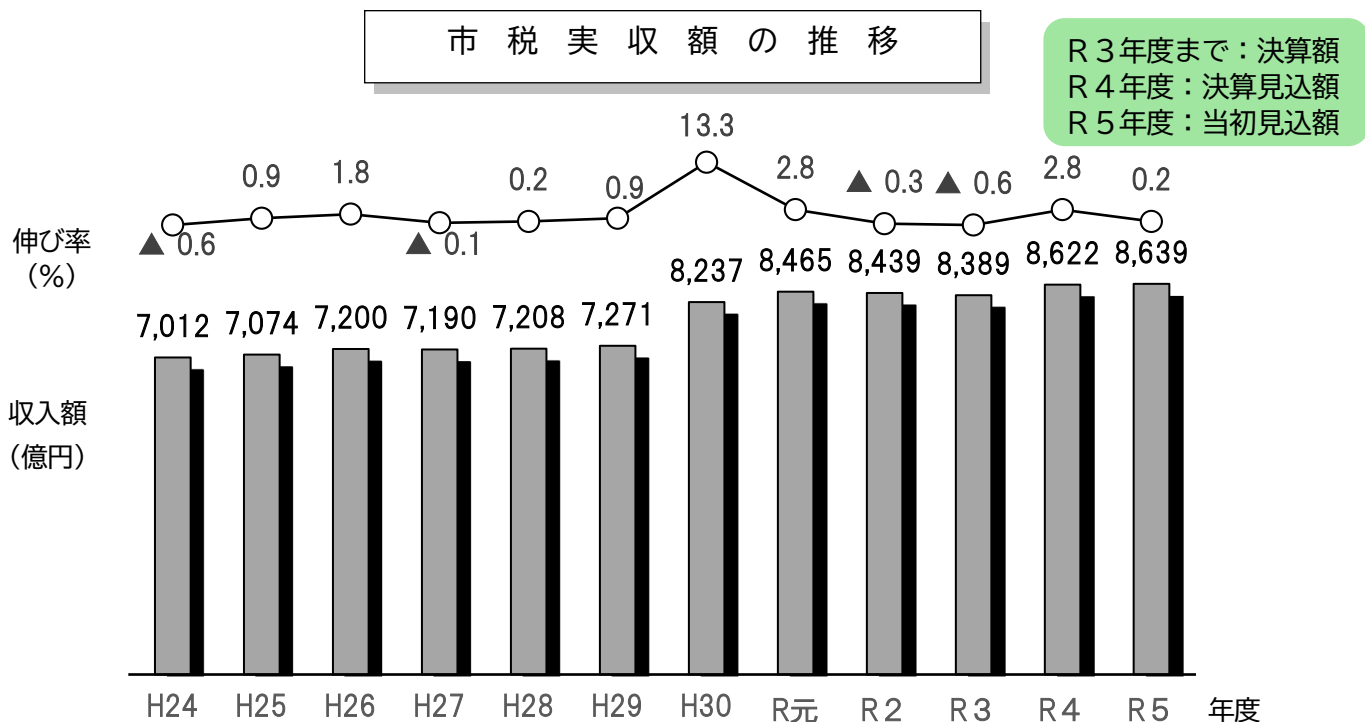
(単位：億円、%)

	令和5年度	令和4年度		令和4年度当初見込額との比較		令和4年度決算見込額との比較	
	当初見込額 a	当初見込額 b	決算見込額 c	差引 a-b	増減率 (a-b)/b	差引 a-c	増減率 (a-c)/c
市税合計	8,639	8,458	8,622	181	2.1	17	0.2
市民税	4,649	4,536	4,702	113	2.5	▲53	▲1.1
個人市民税	4,172	4,062	4,201	110	2.7	▲29	▲0.7
法人市民税	477	474	501	3	0.6	▲24	▲4.8
固定資産税	2,919	2,867	2,863	52	1.8	56	2.0
都市計画税	629	617	615	12	2.0	14	2.3
その他	442	438	442	3	0.8	▲0	▲0.1

* 数値は端数処理の関係で、合計等が合わないことがあります。

最近の市税収入の動向

令和5年度市税実収見込額（8,639億円）は、令和4年度決算見込額（8,622億円）に比べて17億円（0.2%）の増収となります。



* H30年度に個人市民税において、県費負担教職員本市移管に伴う税源移譲が行われました。

■令和5年度市税実収見込額の増減理由（令和4年度決算見込額との比較）

令和5年度市税実収見込額は、令和4年度決算見込額と比べて、17億円の増収となります。主な税目の増減理由は次のとおりです。

- 個人市民税…給与所得納税者数は増となるものの、ふるさと納税の減収幅拡大（※1）による影響により、▲29億円の減収
 - ※1 ふるさと納税の税収影響額（減収額）▲269億円（令和4年度決算見込額▲222億円）
- 法人市民税…企業収益の減速が見込まれることにより、▲24億円の減収
- 固定資産税…土地の負担調整措置に伴う増や（※2）や、家屋の新増築の増などにより、56億円の増収
 - ※2 評価替えに伴う税負担の上昇幅が大きくなる場合、毎年度の税負担の上昇幅を一定範囲に調整する措置

■市税収入額の前年度比増減（億円）

年度	市税計	個人市民税	法人市民税	固定資産税
R元年度	227	205	▲34	36
R2年度	▲26	42	▲104	35
R3年度	▲50	▲23	▲28	▲15
R4年度	233	88	47	80
R5年度	17	▲29	▲24	56

* 表中の数字は、前年度決算額との差額です。（ただし、R4年度はR3年度決算額とR4年度決算見込額との差額、R5年度はR4年度決算見込額とR5年度当初実収見込額との差額となっています。）